

令和3年度 第2回 大分市総合教育会議

日時：令和3年8月4日（水）10：00～11：15

場所：本庁舎8階 大会議室

次 第

1. 開 会

2. 議 事

次代を担うグローバル人材の育成について

3. 閉 会

令和3年度 第2回総合教育会議

8月4日(水) 10:00~
本庁舎8階 大会議室

スクリーン

プロジェクター

市長

廣津留委員

教育長

上杉委員

古城(和)委員

古城(一)委員

記者席

教育部
坪根審議監

教育監

教育部長

企画部長

子どもすこやか
部長

企画部
広瀬審議監

教育総務
課長

教育部
桑野次長

学校教育課
参事

国際課長

企画部
高橋審議監

企画課長

各課担当

各課担当

各課担当

傍聴席

傍聴席

傍聴席

入口

1. 第4次大分市国際化推進計画の理念と方針

計画期間：令和3年度～令和6年度

基本理念：世界にチャレンジし続けるグローバル都市 OITA

基本方針：国際交流・国際協力を推進するとともに、

グローバル人材の育成や共生社会の実現に取り組みます。

また、民間の活動を積極的に支援するなど、市民との連携により、本市の個性や魅力を生かした国際化を推進します。

2. 第4次大分市国際化推進計画の体系

推進テーマ①
〈国際交流・国際協力〉
多彩な国際交流・国際協力によるまち・ひとの活力の創出

国際交流の主役である市民や団体、企業などが多彩な国際交流・国際協力・経済交流を通じて相互に長所を生かし、それぞれが魅力を高めることにより、新たな地域活力を創出します。

施策1 グローバル人材の育成
目標①：外国人と交流し、世界へ目を向けよう
目標②：国際化の情報に関心を持とう

施策2 国内外から人々を惹きつける魅力あふれるまちづくり
目標①：国際色をプラスし「まち」ににぎわいをつくらう
目標②：国際化の情報に関心を持とう

施策3 地域の産業の活性化につながる国際ビジネスの推進
目標①：海外ビジネスにチャレンジしよう

施策4 持続可能な世界の実現のための国際協力・国際貢献の推進
目標①：身近でできる「国際協力」から始めてみよう

推進テーマ②
〈多文化共生〉
外国にルーツを持つ人々も暮らしやすいまちづくり

外国にルーツを持つ人々も含めたすべての市民が地域社会の一員として支え合い、多様な文化や価値観を尊重しながら、持てる力を最大限に発揮できるまちづくりを目指します。

施策5 人権尊重を基調とした多文化理解の促進
目標①：国際化・多文化共生イベントに参加しよう

施策6 あらゆる国籍の人々がともに活躍できる環境づくり
目標①：外国にルーツを持つ人々も暮らしやすいまちにしよう

＜推進するにあたって＞
大分県及びおおいた国際交流プラザ、JICA、JETRO、大学コンソーシアムおおいた等のサポート団体や国際関係団体、大学等教育機関、市民等とネットワークを構築し、様々な主体の活動を通して国際化を推進していきます。



4. 国際課のこれまでの主な取組

**おでかけENGLISH
～留学生と英語で遊ぼう～**

市内幼稚園、保育園等に県内の大学に通う留学生を派遣し、4～5歳の子どもに対し、簡単な英語を使ったゲームなどをしながら、子どもたちに海外の文化や言葉に触れ合う機会を創出することで、視野を世界に広げ、チャレンジ精神や多様性を受け入れる力を身につけることを目的に2016（平成28）年から実施しています。

**青少年国際理解推進事業
(ワールド・クエスト・イン・OITA)**

交流の様子(令和2年度)

大分市青少年国際理解推進事業の一環として、小学生を対象に昨年11月7日にコンパルホールで初めて開催したイベントで、ALT（外国語指導助手）や留学生を活用し外国人と直接触れ合える国際交流事業です。参加した小学生4人とALTや留学生1人とでグループとなり、「クエスト」（宝探し）や「謎解き」に挑戦する内容です。
今年度は、参加人数を2倍に拡大し、9月23日（祝日）と11月下旬の2回実施することになりました。

ハーバード大学生との交流事業

能楽堂での交流の様子(令和元年)

一般社団法人 Summer in JAPAN と連携し、市内の小中学生がハーバード大学生と交流できる人材育成プログラムです。参加者は、ハーバード大学生からアメリカの大学生活や将来の夢などの話を聞き、世界に目を向けるきっかけとなるほか、英語を使ったワークショップを通じて英語の表現力などを学びます。
今年で3回目となりますが、昨年度と今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、ハーバード大学生は動画による参加となります。今年は8月8日 日曜日に JCOM ホルトホール 大分で開催する予定です。

おおいたワールドフェスタ
大分市と市内にある国際関係団体が協力し開催する国際交流・国際協力イベント

おおいたワールドフェスタは、大分市と JICA 九州が共催で、毎年10月6日の「国際協力の日」にちなみ、市内にある国際関係団体（JICA 九州、おおいた国際交流プラザ、大学コンソーシアム大分）が一堂に会し、外国の伝統的な踊りや留学生によるスピーチコンテスト、国際協力に関する取組の紹介など、様々な国の文化に触れ合い、世界を身近に感じてもらうことを目的とする市民を対象にした事業です。
今年は10月30日の土曜日にお部屋ラポ祝祭の広場で、おおいた夢色音楽祭と同時開催し、姉妹友好都市紹介のパネル展示、海外協力隊の活動写真のブース出展や、世界の料理ブース、映画上映会、世界のお話など、多様な文化に触れ、世界を感じるためのイベントを行う予定です。

姉妹・友好都市交流

本市の姉妹友好都市であるポルトガル アベイロ市、中国武漢市、アメリカ オースチン市との交流を活かし、青少年交流を実施しております。毎年、大分国際車いすマラソンに参加する武漢市選手団と小・中学生との交流会を開催するほか、平成30年度にはアベイロ市の中学生サッカーチームを招聘し、交流試合を行いました。その他、おおいた夢色音楽祭に参加するオースチン市のミュージシャンと大学生との交流も実施しております。

3. 施策1 グローバル人材の育成

施策1 グローバル人材の育成

これまでの取組み
青少年が世界に目を向け、コミュニケーション能力を高める機会として、学校では外国語指導助手(ALT)が授業へ参加し、交流を行っています。また、様々なイベントを通し青少年が外国人と触れ合う機会を提供しています。
※外国語指導助手(ALT)
小学校、中学校における外国語等の授業や活動の補助を行う外国人。

これまでの主な取組例
● 青少年国際理解推進事業
● 留学生活用事業(おでかけENGLISH)
● 幼稚園、小学校、中学校 ALT派遣事業
● 公民館での各種交流事業 など…

目標
① 外国人と交流し、世界へ目を向けよう
② 国際化の情報に関心を持とう

将来像
視野を世界に広げ、チャレンジ精神や多様性を受け入れる力が身につきます。
※多様性
ここでは、多国の文化や習慣などの様々な違い。

数値目標
外国人と交流する事業に参加した子どもの数
43,000人
(2024年度)

5. 今後のグローバル人材の育成に向けて

今後は、異なる言語、文化、価値を乗り越えて関係を構築するためのコミュニケーション能力や協調性を持つ、グローバル人材の育成に向け、青少年が外国人と交流する機会を創出することで、自らが海外へチャレンジし、道を切りひらいていくための力を養う取組が必要と考えています。
このため、豊かな国際感覚を持ち、世界で活躍できる青少年を育成するために、身近な国際化の情報に興味を持ち、国際的な視野を育むことができる事業を推進してまいります。

1 グローバル人材の育成とは……

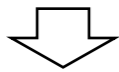
◆グローバル社会を生き抜くために重要とされる力（文部科学白書より）

- ・ 未来への飛躍を担うための創造性やチャレンジ精神
- ・ 強い意志を持って迅速に決断し、組織を統率するリーダーシップ
- ・ 人々と協働するための語学力・コミュニケーション能力
- ・ 異文化に興味・関心を持ち、理解しようとする姿勢
- ・ 日本人としてのアイデンティティー



2 グローバル人材の育成に向けた教育委員会の関連計画

大分市教育ビジョン2017 第Ⅱ期基本計画



大分市学校教育指導方針

我が国や郷土の歴史、伝統・文化についての理解を深め、これらに誇りと愛情をもつとともに、異文化を理解し、尊重するなど、国際的視野に立って主体的に行動する資質・能力の育成を図る。

3 教育委員会における事業

◆武漢市学校交流事業

大分市と中国武漢市との友好交流の諸事業の1つとして、両国青少年に、海外の文化や社会、自然環境などに直接触れる体験と見聞を広げる機会を提供することにより、国際社会に向けての人材の育成及び日中の相互理解と交流の促進を図る。

	受入事業	派遣事業
時期	6月中旬～7月上旬 (約1ヶ月間)	3月中旬 (7泊8日)
体験入学校	市内中学校1校	武漢外国語学校
参加人数	武漢市生徒5名 引率教員1名	市内中学校生徒5名 引率教員1名



《参加生徒数》

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	参加生徒数
	上野ヶ丘中	碩田中	王子中	大分西中	南大分中	城東中	明野中	判田中	滝尾中	
受入	3	3	3	5	5	5	5	5	延期	34
派遣	3	3	3	3	5	3	5	中止	延期	25

《参加生徒の声》

- ・ 自分の意思をはっきり伝えることの大切さを学んだ。
- ・ 「隣の国」だった中国が「大切な友だちがいる国」になった。
- ・ 他の国のことを理解しようと努力することを続けたい。
- ・ 今まで気付かなかった日本の良さが見えてきた。



◆外国語指導助手（ALT）招聘事業

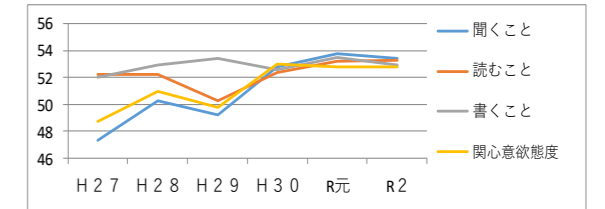
小学校における外国語活動及び英語、中学校における英語、国際理解教育での授業の補助等を通して、児童生徒の英語教育への関心・意欲を高め、コミュニケーション能力の素地や基礎の育成を目指す。 ※R3年度は見込み

○平成5年度以降、段階的に外国語指導助手（ALT）の配置人数を増員してきた。令和3年7月20日現在で21名を配置している。



年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3
配置人数(人)	16	21	26	31	17	35
小学校						
3,4年(単位時間)		6.7	10.5	12.7	11.3	13.0
5,6年(単位時間)	12.2	14.4	21.1	28.1	23.6	30.0
中学校(単位時間)	17.4	14.7	17.2	17.0	11.3	22.0

大分市標準学力調査結果経年比較（中1）



○令和2年度大分市標準学力調査での英語における「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」の偏差値は52.8点であり、全国平均50.0点を超えるとともに、「聞くこと」の領域については平成30年度以降、著しい向上が見られている。

◆その他学校における具体的な取組 ※R2年度は新型コロナウイルスの影響により未実施

○武漢市小学校児童との交流活動

碩田学園、西の台小学校、こうざき小学校では、武漢市の瑞景小学校、北湖小学校、紅領市小学校の訪日時期に合わせて、合唱やダンス、スポーツなどを通じた児童同士の交流活動を行いました。



○立命館アジア太平洋大学（APU）学生との交流活動

碩田学園、下郡小学校、判田小学校、滝尾小学校では、5年生の見学遠足の際に「外国語科」の授業の一環としてAPUキャンパスを訪問し、留学生と英語によるコミュニケーション活動を行っています。



○大分国際車いすマラソン選手との交流活動

碩田学園では、毎年、「大分国際車いすマラソン」に参加する海外の選手を迎え、車いすマラソンについての話を聞いたり、実際に競技で使用する車いすに試乗させてもらったりする交流活動を行っています。令和元年度は、舞鶴小学校でも海外の選手を迎えて交流活動を行いました。



○ウルグアイ東方共和国青少年との交流活動

「ラグビーワールドカップ2019」開催の際は、滝尾中学校、王子中学校で、ウルグアイ代表選手及びラグビー協会所属の中学生を迎え、ウルグアイの文化等を紹介してもらったり、けん玉や書道などの日本文化を体験してもらったりして交流活動を行いました。



4 今後に向けて

英語教育及び国際理解教育を充実させることを通じて、国際的な視野を持つグローバル人材の育成に努める。

○ネイティブスピーカーとの交流を通じた児童生徒のコミュニケーション能力の育成

- ・ 外国語指導助手（ALT）を活用した外国語活動及び英語授業の充実
- ・ アジア太平洋立命館大学（APU）と連携した交流活動（キャンパス見学、地域交流プログラム、オンライン交流会）

○武漢市学校交流事業を通じた日本と中国の相互理解と異文化交流の促進

○小中学校における英語教育に携わる教員の指導力向上

- ・ 小学校英語教育と中学校英語教育との円滑な接続に向けた研修
- ・ 英語教育推進室による小学校及び義務教育学校を対象とした巡回訪問指導
- ・ 教科指導に関する指導・助言を行う授業力向上アドバイザー、教科指導マイスター、イングリッシュ・アドバイザーの派遣